市庁舎整備に関する調査特別委員会

(第8回) 会議録

会議年月日	平成25年6月24日(月)		
開会	午後1時59分	閉会	午後3時15分
場所	6階 全員協議会室		
出席委員 (9名)	委員長 中西照典 副委員長 吉田博幸 委員 棕田昇一、寺坂寛夫、伊藤幾子、桑田達也、下村佳弘、 有松数紀、橋尾泰博		
欠席委員	なし		
事務局職員	局次長：勝井節朗、議事係主任：増田和人		
出席説明員	総務部長：羽場 恭一 庁舎整備局長：亀屋 愛樹 庁舎整備局次長：中島伸一郎 庁舎整備局長補佐：藏増 祐子 庁舎整備局主幹：宮崎 学 庁舎整備局専門監：前田喜代和 財産経営課主幹：福井 一朗 (兼) 庁舎整備局主幹		
傍聴者	3名(別添のとおり)		
本日の会議に付した事件	別紙資料のとおり		
備考			

午後 1 時 59 分 開会

- ◆中西照典 委員長 では、1分ほど早いかな。そろわれたようでありますので、市庁舎整備に関する調査特別委員会、第8回目をこれより開会いたします。きょうは報告事項があります。3件ありますので、報告をしていただきたいと思います。それでは、
- ◆伊藤幾子 委員 委員長ちょっといいですか
- ◆中西照典 委員長 はい、どうぞ。
- ◆伊藤幾子 委員 きょうのレジメ、今見せていただいて、報告案件ということで3点あるのですけれども、この表題を見る限り、私はきょう、市長がこの委員会に出て説明されるべきではないかなと思います。6月議会のときもあれだけの決意を述べられたわけですからね、まずはきょう市長に出てきていただくのが私は筋ではないかと思えますけれども、その点、ほかの委員さんの御意見、あれば伺いたいと思えます。
- ◆中西照典 委員長 今、伊藤委員が提案というか、ありましたけど、ほかの委員はどうですか。椋田委員。
- ◆椋田昇一 委員 それが必要かどうかをより判断するためにも、もう一回ちょっと、今このレジメ見る範囲ではというふうに伊藤委員はおっしゃいましたけど、もう少し具体的に何をやるうとしているのか、きょうの委員会ですね、それによって変わってくるといいますか、判断かなというように思えますので、もう少しそのあたり、どういうことをやっていくことになるのかということをごすね、
- ◆中西照典 委員長 つまり、報告を受けてから判断するという意味ですか。はい、椋田委員。
- ◆椋田昇一 委員 具体的な報告というのじゃなくて、きょうの委員会は何をする委員会なのかというちょっと御説明をお聞きしてからと、
- ◆中西照典 委員長 それは、このレジメに書いてあることでありますので、レジメに書いてあることをお聞きしてから、それでどうしても市長がここに出てこれないと理解ができないということであれば、お呼びすれば私はいいいのではないかと思いますけど、ほかの委員の方はどうですか。有松委員。
- ◆有松数紀 委員 内容を、説明を伺ってからということになるかもしれませんが、これまでの委員会の執行部での報告は、これまでに執行部のほうで出された資料とか、そういった部分での説明という流れで今まで特別委員会では来たと思えますから、特にこの庁舎整備についてということは、市長が新たなことを言われるということではなしに、これまで議会で言われた部分に関してこの特別委員会にも改めて説明をということで理解をしておりますので、市長が今、必要だとは私は思っておりません。以上です。
- ◆中西照典 委員長 そのほかに。じゃあ、桑田委員。
- ◆桑田達也 委員 伊藤委員のほうから、この表題を見て市長の出席が必要ではないかという御意見であったわけですが、今、有松委員が言われたように、これまでの特別委員会の流れからして、特に市長の出席の私は必要ないと思えますし、提案説明もいただき、議会の一般質問でも多くの質問が出、またきょうの資料にもありますけども、日本海新聞のこういう新聞広告、

こういったものも既に出ている中で、私たちは、まず特別委員会として必要なのはこういう経過、これをまず執行部から聞いて、その後その議論をし、必要であれば市長の出席ということはあるのかもしれませんが、冒頭から市長の出席ということではないというふうに思います。まずは執行部の説明を、報告を聞きたいと思います。

◆中西照典 委員長 じゃあ、下村委員。

◆下村佳弘 委員 同様なことになるのですが、表題だけで出席していただかなければならぬいかどうかっていうのは判断できないじゃないかという思いを思いますし、そういうことが本当に必要なかどうかというためにこういう説明があるわけで、必要があれば委員会として出席を求めていくという姿勢で僕はいいじゃないかというふうに思います。

◆中西照典 委員長 では、とりあえず報告を受けた後に、また皆さんにお聞きしてと思います。

◆伊藤幾子 委員 はい。

◆中西照典 委員長 伊藤委員、それ以外のことですか。

◆伊藤幾子 委員 はい。

◆中西照典 委員長 その方向じゃないですね。じゃあ、伊藤委員。

◆伊藤幾子 委員 皆さんの御意見は聞かせていただきました。それで、この表題を見、表題だけではわからんというかね、話を聞いてから判断するという御意見がありました。私がなぜそういったことを言ったかといいますと、そもそも市長が6月議会の冒頭に提案をされた市庁舎整備の考え方と議会の考え方が違うということが明らかだから、私は市長に出てきていただいて説明していただきたかったということで、このことを言ったのですけれども、ちょっと一つだけ確認させてください。議会は2月に市民説明会で、住民投票の結果を尊重してっていうことを市民の前で説明しましたけれども、議会の立場と市長がこのたび言われた考え方は違うという認識でいいですよ。そこをはっきりと確認してから進めていただきたいと思います。

◆中西照典 委員長 今、そういう要望がありましたけど、どうですか。皆さん、それを確認してからでないと進められないということであれば、それぞれの意見を言いますし、このまんま進めればいいということだったらこれ進めますけども、意見があれば。

じゃあ、委員長としては、このまま一旦報告を受けたいと思いますので、そのまま進めさせていただきます。

それでは、報告案件につきまして、執行部より報告をお願いいたします。中島次長。

○中島伸一郎 庁舎整備次長 失礼します。庁舎整備局の中島でございます。そうしましたら、座らせていただきまして説明させていただきます。

皆さんのお手元のほうに、きょうの資料としては庁舎特別委員会のレジュメがございまして、それで次に推進本部ですね、第1回目の推進本部の資料、それと6月13日付の日本海新聞に載せました市庁舎整備の基本的な考え方（たたき台）、それと第12回目の専門家委員会の報告書まとまるという専門家委員会ニュース、これをもって御説明さしあげたいと思いますので、よろしく申し上げます。

説明の前に、前回の庁舎特別委員会のほうでの指摘事項がちょっと2件ほどございましたので、それについて触れさせていただきます。

スケジュールをとということがありました。これは後ほどでまた説明させていただきますし、それと12回目の専門家委員会で専門家委員の皆さんの感想をこの終了時に述べられたと。これはいい感想なのでぜひニュースに載せてほしいという御意見がございまして、これ既に皆さん御案内かもしれませんが、この専門家委員会の裏のほうにそれぞれ各委員の皆さんのコメントを載せさせていただいていますので、これのほうはちょっと御紹介ということでよろしくをお願いします。

じゃあ、そうしましたら、第1回目の鳥取市庁舎整備推進本部会議の中身をちょっと御紹介させていただきます。これは、6月7日の金曜日ですね、議会の開会日、午後1時から行いました。議題につきましては、5項目ございます。この資料ですけども、よろしいでしょうか。第1回目の推進本部の資料でございますけども。1番目の、これは鳥取市庁舎整備専門家委員会の報告についてということで、これにつきましては5月の27日の日に専門家委員会を市に市長の方に報告されたという中身を御説明さしあげて、先ほどの専門家委員会ニュースをもとに概要を説明させていただいております。

2番目に、市庁舎整備の基本的な考え方（たたき台）ということで、これは市長の提案説明で表明した中身を改めて説明というか、読み上げまして、確認させていただいております。

それと、3番目の市庁舎整備推進本部の設置ということですけども、次のページからですけども、その設置要綱（案）がございまして、これを説明しまして承認もいただいたところなんですけども、簡単にちょっと御説明さしあげたいと思います。

開いていただきまして、これについては、案をこの日提案しまして、案はなくなっておりますけども、これは第1条、目的から第9条ですね、その他までの9項目で構成されております。

第2条は所掌事項ということで、1番目に全体構想の取りまとめを行うということと、市民への情報提供と説明と。

3番目に組織ということで、本部長を市長と、副本部長は副市長ということで、本部員につきましては、この裏面に本部員の構成を掲げております。教育長以下、農業委員会の事務局長まで掲げてございます。

それと、第6条で幹事会です。これは、庁舎整備について庁内で調整するために幹事会を置くということで、幹事長につきましては総務部庁舎整備局長をもって充てるということにしていまして、幹事については同じく裏面の別表に載せさせていただいております。これは御覧いただきたいと思います。

それと、第7条、専門部会の項目を掲げています。推進本部の中に専門的事項の検討及び調整並びに推進本部の会議により付託された事項等の調査、検討をさせるために専門部会を置くというふうにしております。また、これは後ほど説明さしあげたいと思います。こういった形で推進本部の中で要綱について諮りまして、これは承認をいただいて、同日付でこの要綱が発効しているということでございます。それと、専門部会の設置ということで、これも要綱の次のページにありますけども、専門部会設置についての案がございまして、これにつきましても、このときに御説明申し上げております。

1番目の設置及び検討事項ということで、これは要綱の、先ほどの第7条の規定によりまし

て、2つの部会を設置しております。この部会名が、1つが防災機能強化部会ということで、検討事項としては、災害対策拠点に関することというようなことを掲げております。主管課につきましては、危機管理課と関係課で構成されるということでございます。

それと、窓口サービス機能強化部会ということで、検討事項としては窓口サービスの機能強化に関することということが掲げてあります。主管課としては、市民課と保険年金課、関係課もこのようにございます。

この専門部会以外にも、今、ファシリティーマネジメントの推進プロジェクトチームの中に窓口サービスのあり方検討部会というのが、これございます。こういったことと連携して作業に当たろうということも掲げていますし、新たな専門部会の設置につきましては、同様の組織が中にあるればそれを活用するとかいうこともここに書いてございます。

この専門部会につきましては、2番目で、調査検討結果については推進本部へ報告するというようなことを掲げておるものでございます。

それと、5番目ですね、推進本部のレジユメのほうに戻っていただきまして、(5)の今後のスケジュールということで、これも推進本部の中で、これはノーペーパーでお示ししております。市庁舎整備の基本的な考え方(たたき台)について、このたびの6月議会の議論等を踏まえて、庁舎整備の基本方針案をまとめるということで、また7月に市民に対する説明方、意見交換会を開催しまして、早急に庁舎整備の全体構想をまとめるということを説明させていただいております。

こういった形で、推進本部につきましては説明をさせていただいているところでございます。引き続きまして、よろしいでしょうか。

◆中西照典 委員長 はい、どうぞ。

○中島伸一郎 庁舎整備次長 次に、ここの2番目の鳥取市庁舎整備の基本方針案についてでございます。

これにつきましては、先ほどありましたように、議会の冒頭での提案説明であるとか、6月13日に日本海新聞に掲載しました、このたたき台ですね、これを御覧いただきたいと思っておりますけれども、考え方としてはこの議会で多くの議員の皆さんから質問をいただいて、今後、基本方針案を打ち出していった、市民へ説明をいただきながら推進本部で全体構想をまとめるという流れでございます。このA3判のたたき台につきましては、提案説明では右側のほうのたたき台、これを表明しておりますけれども、記事広告では左側ですね、左上に市長の考え方をまず掲げております。その下に取り組みの1、2を打ち出しているということでございます。このたたき台とこの内容をベースとして、今回の議会でいろいろ議論いただいておりますので、それを踏まえまして市庁舎整備の基本方針案を早急に取りまとめていきたいという、今、考えているものでございます。

内容につきましては、今まだ方針案を皆さんにお示しできませんけれども、繰り返しになりますけれども、今回の議会で議論等を踏まえて方針案を作成させていただこうと思っております。

それと、スケジュールですけれども、今後のスケジュールとしましては、6月27日の日に庁舎の推進本部を開催いたします。基本方針案について協議して、方針案について決定後、7月の

13日の土曜日、14日の日曜日に5会場で市民説明・意見交換会を開催したいと考えております。それで、早急に市庁舎の全体構想をまとめていきたいというふうに考えております。

3項目の市民説明・意見交換会の開催についてということで、開催日は先ほどのとおりなんですけども、5会場で各1時間半を予定しておりまして、7月の13日の土曜日につきましては、9時半からですけども、河原町の中央公民館、午後1時半から気高町の総合支所、夕方になりますけども、17時半から鳥取市国際交流プラザ、13日につきましては3会場で行います。14日の日曜日につきましては、9時半からさざんか会館、午後1時半から国府町の中央公民館、2会場、合わせて5会場で開催することを計画しているところでございます。

以上、私のほうからの説明は以上でございます。

◆**中西照典 委員長** それでは、日程第2の報告案件を今、報告をしていただきました。何か御質問、わかりにくいところがあれば適宜お願いします。じゃあ、下村委員。

◆**下村佳弘 委員** 今、説明をしていただきましたけれども、提案説明を含めて皆さんの一般質問であったとおりに、わかりにくいところがまだ非常に多いという中で、市民説明あるいは意見交換会を開催するというふうになっております。これ今の状態でどういうことを説明するのか、かなり委員、議員の中でも疑問な点があるという中で、生煮えの部分の説明しなくてはならないのではないかというふうなことになるじゃないかということをお心配しております。一体その中で、どの程度のところまで説明をして御意見を伺うのか、これをちょっとお聞きしたいというふうに思います。

◆**中西照典 委員長** では、亀屋局長。

○**亀屋愛樹 庁舎整備局長** 今回の説明会につきましては、基本的な考え方、これを提案説明で表明いたしました。それを先ほど説明しましたとおり、議会の中でいろいろ質問を受けて、それを基本方針として、この基本的な考え方の域を出たものではございませんけども、まとめあげて基本方針というものを発表させていただきます。その基本方針の内容について説明会のほうで説明をさせていただくと。今後のスケジュールも踏まえながら、市民の方に基本方針の考え方、これを説明させていただく場を設けるという趣旨で開催する予定でございます。

◆**中西照典 委員長** ちょっと委員長から。基本方針というのは、これはいつ、どういう段階でされて、この議会に対してはどのような説明される予定なのか、ちょっとそこを不明瞭なので、教えてください。

○**亀屋愛樹 庁舎整備局長** 基本方針につきましては、現在検討しておりまして、方針については執行部のほうも推進本部の中で最終的に諮りまして、それを議会のほうに報告をさせていただくという形になると思います。

◆**中西照典 委員長** ちょっと委員長が言うのはあれだけど。今、気になっとなるのは、意見交換会とか市民、それをされるのは当然ですけども、そこに、この委員会、少なくともね、はどういうふうに入っていくのか。我々はもうすべて終わった後の報告じゃあちょっと困るというのが、これは委員長の、皆さんの代表の意見だと思います。そのところを聞きたい。

○**亀屋愛樹 庁舎整備局長** この基本方針の案の、いつの段階で議会のほうにお示しするかということですよ。はい。これについては委員長と御相談させていただいて。

◆中西照典 委員長 はい。

○亀屋愛樹 庁舎整備局長 今現在、検討しておるところでございますので、改めてお示しする時期を設けてお示ししていきたいと思っております。

◆中西照典 委員長 委員の皆さんは、委員長ということですかね、そのあれも。下村委員。

◆下村佳弘 委員 ちょっと途中になりましたけど、市民の命と暮らしを守るっていうのは当然なこととして、これを駅南のほうですね、に防災を中心としたものを建てるのだというのが基本方針だろうというふうに思うのですが、それ以上のことはないわけですよね。あと、具体的なものが、何が説明できるのか、そういうことをお伺いしたいというふうに思います。

◆中西照典 委員長 局長、どうぞ。

○亀屋愛樹 庁舎整備局長 基本的な考え方の中で、この1、2、3という形でお示したと思うのですが、この内容としましては、はっきりしているのは、防災と市民サービスの充実強化のために旧市立病院跡地において施設の整備に向けた検討を進めますということのはっきりしております。

それと、3番目は、この庁舎機能の全体的な配置、費用などをまちづくり、こういった観点から既存の庁舎については検討を進めますということで、この部分を今後検討していき、全体構想という形で取りまとめていくという域は出ませんので、説明としてはもう書いてある範囲内で説明をしていくという考え方でおります。

◆中西照典 委員長 意見のある方、述べてください。

◆橋尾泰博 委員 ちょっといいか。

◆中西照典 委員長 はい、橋尾委員。

◆橋尾泰博 委員 今、執行部の方から説明を受けたのだけど、きょうの出された資料あるいは説明、これで我々が議論、まずできないわけですよ。今回の議会の質問戦なり、あるいは、何だいな、毎日新聞だったかいな、支局長がインタビュー記事を書いていたけど。あれなんかを含めても、議会のやりとりなんかにしても、市長さんの答弁を聞いて、ぐらぐらぐらぐらしているわけだよ、答弁そのものが。それで、私も議会の中で言わせてもらったけども、これはやっぱり今まで議会ですずっと議論してきたことだとか、住民投票をやってきたこととは明らかに違うね。だれが見てもやっぱり新築移転論なのですよ。

一つ具体的に申し上げると、例えば市民サービスの機能の面でも、新築しなければ市民サービスが実現できないとか、ああいうことをおっしゃるのだけど、今まで議論してきたことは何だったのかなというところがあるので、こういう形で新しい提案をされるのであれば、やはり今までのけじめっていうのはつけてもらわないと、我々議会の動きはつかんと思うのですよ。というのは、言えど大きな転換点として住民投票をやったわけだけど、その住民投票から1年間たっているけども、特別委員会なり専門委員会、議論しましたよね。したけども、やはり住民投票の結果というものを受けとめて議論してきた話であって、今回の市長が提案されたような議論というのは、この1年間、一度たりともやってないわけですよ、こういう議論は。ということは、明らかに違う提案をされても、我々議会は判断もできないし、今の提案では。やはりそこら辺をきちっと整理しないと、この委員会をやっても本当の議論ができないと思うの

ですよ。そういうところの説明なり、転換をした方向性なんかにしても、やはりきちっと説明されないかんし、きょう最初に推進本部の話が出ただけでも、推進本部長っていったら市長さん、

◆中西照典 委員長 橋尾さん、それいいのだけど、早くまとめてください。

◆橋尾泰博 委員 はい。だからやっぱり、今までの流れも市は当然わかっているわけだから、こういう新たな提案をするのであれば今まで議論した分の総括をして、それからでない新しい議論には入れないと私は思います。その辺をはっきりしてください。

◆中西照典 委員長 橋尾委員の、今のは意見、思いです。寺坂委員。

◆寺坂寛夫 委員 私のほうの意見としましては、専門家委員会ですらいろいろともうあらゆる資料でも何個も出ましたし、その結果に基づいて執行部なり市長の考えも出とります。それで一番私の心配なのは、専門部会のほうの構成なんかも、関係課は必要に応じてまた追加、調整するとか言っておられますけど、防災面や住民サービス面、この防災面でも非常に担当課なんかもまだまだ都市環境とか下水道の水害対策もいろいろ出てきますし、それを含めた関係課が必要でもありますし、またサービスについても経済部門とか農業部門が何か外れていますわね。農林水産部なんかでは、農村整備課なんか非常に住民が出られると、地域の。それで、実態でもあの辺が狭くて、帰られるときでもついキャビネをあけられるとか、出口がわからないとか実態がありますし、窓口が非常に多いと思います。材料支給から地元負担金とかいろいろありますし、簡易水道もあるし。この辺の関係課のほう、重点的な本場でその辺を見ていただいて。ただ、部長がおられると、本部には部長を置きましたよ、ではなしに、実戦部隊をきちっとやって、喫緊の課題ですので、この辺の問題は。これをきっちり、関係部局を見直していただいて取り組んでいただいたらと思います。

◆中西照典 委員長 じゃあ、有松委員。

◆有松数紀 委員 橋尾委員が言われたことに対して、私なりの考え方を述べさせていただこうというふうに思いますが、私自身は前回の特別委員会での最終的な報告、これは2号議案が実現できないということがメインであって、それを執行部に渡したということで、条件つきで渡したのではないと。そして住民投票はすべてだということもその中に盛り込まれて言われたものではないという判断の中で、執行部は不利な立場の中で専門家委員会に、諮問という形ではありませんでしたけども、専門家委員会の考え方を見合わせながら、そしてアンケート調査もその後にされながら、全体的な考え方の中で今の基本的な考え方を示されたというふうに思っておりますので、この部分に関しては議論ができるできないではなしに、執行部の考え方としては妥当な提案の仕方だろうと私は思っております。

ただ、今時点では、我々特別委員会の中で、このことに対してまだ踏み込んで議論をできる状況にはないということは確かだというふうには思っておりますけども、議論が進められないというような考え方には、私は理解できない状況でおります。このままで進めていかれたらいい、その中で特別委員会は執行部の考え方、基本的な考え方になるのでしょうかね、次のステップになると。その部分で特別委員会での議論を重ねていって、それが妥当なものかどうかという方向性を見出していけばそれでいいというふうに思っております。以上です。

◆中西照典 委員長 じゃあ、桑田委員。

◆桑田達也 委員 私がちょっとお伺いしたいのは、まず5月の27日にこの庁舎整備の専門家委員会のまとめを、報告書を市長が受け取られました。この専門家委員会の設置から12回のこの議論については、当然ながら議会も含めて、これまでの議論をしっかり踏まえて今後のこの鳥取市に必要な庁舎のあり方ということも議論された、包括的にまとめられたということは理解をしますので、これが5月の27日にこの専門委員会から報告書を受け取られて、そしてこの6月議会の初日の提案説明まで、非常に時間が窮屈な中で市長が提案説明をまとめられているところが少しやはり疑問になるところなのだろうと思うわけです。さらにこれが推進本部が設置をされて、この住民説明会が7月の13日ですから、設置をされて説明会まで約2週間しかない。そういう短い期間の中で、どのような庁舎整備推進本部の中で議論がなされて、本当に先ほど下村委員のほうからありましたけども、その住民説明会、市民の皆さんから意見を、意見交換をするだけの内容にまとまっていくのかどうかということが少し私は心配だなというふうに思っております。

これまでの経過ということは十分理解するのですが、そういったことを市民の皆さんにわかっていただくための説明会なわけですから、十分準備をする期間をしっかりとっていただいて、その説明会に臨んでいただきたいということも含めて、ちょっと御意見、執行部からの御意見をいただきたいと思います。

◆中西照典 委員長 じゃあ、桑田委員の意見に。

○亀屋愛樹 庁舎整備局長 この説明会は、まず基本的な考え方、鳥取市が示したわけなのですが、その考え方に至った経過、こういったものを市長として市民に説明をしていくということで、この全体構想について今後議論していくわけなのです、検討していくわけなのですが、その全体構想がまとまってから説明会を開くということではなく、あくまでもこういう姿勢で市庁舎の整備に向かっては向かっていくという考え方をその市民の説明会として行っていこうという試みでございます。ですから、その段階で市民の方から意見をいただいたりということで、今後の糧にしていくという内容で進めていこうということで開催するものでございます。

◆中西照典 委員長 ちょっと委員長から。基本的な考え方と基本方針と言っておられる、ありますよね。この基本方針というのは、今まで示されたことの域を出るのですか。その辺のところをきっちりしてもらわないと、何か新たなものを、議会をスッコ抜いていきなり出るような雰囲気、僕は持っていたから、さっきちょっと意見をお聞きしたのだけど、委員会というものをきちんと踏まえてもらわんと困るということですけど、ちょっとそこのところ。

○亀屋愛樹 庁舎整備局長 この基本方針というのは、基本的な考え方を、具体的に内容を煮詰めていって方針として示すというのではございません。この考え方を、域は出ませんので、ある意味では少し肉づけをしてお示しすると、整理して文章化するというものでございますので。この考え方の域から出るというものではございません。

◆中西照典 委員長 ちょっと確認、もう一度。というと、我々がこの間の定例会、きょうあった定例会、あるいはこちら、それから専門委員会、いろいろこうしてきているわけだけど、これを、この今まで我々のこの委員会が聞いている内容以上のものは出ないということですか。ち

よっとそこをしてもらわないとね。はい。

○**亀屋愛樹 庁舎整備局長** あと、整備に当たっての考え方というのは、先ほど言いましたとおり、1、2、3でまとめ上げたと思います。それで、基本方針につきましては、あとは推進体制とか建設に係る財源とか、それから地域経済効果、こういったものをどうやっていくのかというようなことを補足してつけているぐらいのもんでございまして、ですから考え方の内容としては基本的な考え方を超えるものではないということでもあります。

◆**中西照典 委員長** そこで、僕は先ほど言いましたように、こんなものじゃないし、やっぱりすべてというか、いわゆる委員会に報告、あらかじめされることはしとかなないといけん。皆さん、これからいろんなところでお話しされるのに、わしは知らなんだって、その報告会で聞いて、そうだった、そんなばかなことはないので、先ほど言いましたように、その意見、市民、意見交換会で示されることを今ここで委員の方が知らないことは、あらかじめしていただきたい。これは委員長の意見ですし、委員会の皆さんもそう思っておられると思いますので、そのようにしてください。後で何でもかんでも聞くちゅうことのないように。ちょっとこれは蛇足しました。じゃあ、棕田委員。

◆**棕田昇一 委員** 今、委員長が言われたことについて、私もそのように思うのですが、それとかかわって、まず市長は6月7日のこの基本的な考え方の中でこう言っているのですよね。この基本的な考え方をたたき台として、市議会との調整を進めと、こうあるのですね。私、整備局にはこの調整というのはどういうことなのだというようなことは、ちょっと議会質問にかかわるやりとりの中ではやらせていただきましたが、もう一つよくわからない。ただ、これ市民が読むと、議会との調整を進め、その上で7月に市民説明会を開くということになると、市民説明会で執行部が説明された内容は議会との調整済みのものなのだなという、こういう理解になる、あるいはなりかねない。だからこそ、私は委員長が先ほど言われたことも大事なことになると思うのですが、しかし、きょうの冒頭の中島次長の説明というか、発言の表現は、この議会との調整とは言われなかったのですよね。この議会での議論を踏まえて基本方針案を取りまとめると、こう言われたのですよ。踏まえて取りまとめるといことと、調整をするといこととは、これは違いますよ。

もう1点は、やはり委員長の問いかけに対して、推進本部に諮って議会に報告すると、こう言われましたよね。そうすると、議会への報告というのは、何もここで議決をするという話ではないわけで、そうすると、市民に伝わる議会との調整をするといことと、きょう執行部が言われた議会での議論を踏まえるといことと、それから議会に報告をするといことと、これはいずれも曖昧というか、誤解や事実誤認を生んでしまうことになるわけで、少なくとも議会との調整の上で議会の承知、承諾の上で市民説明会の内容が提案されているというような事実誤認の誤解を生じないようにはしっかり、ちゃんとしていただく必要があるといことを大前提に、やはり先ほど委員長言われた点はとても大事だと思いますので、むしろその辺について少し執行部のほうからお考えを説明いただきたいと思います。

◆**中西照典 委員長** ちょっといいです、いいかな。ちょっとね、さっき言ったように、きちっと、さっき曖昧になって、委員長に報告すると言われて、皆さん聞こうとしたらちょっと意見が出

たんですけども、その辺も踏まえて御意見があったら。

○**亀屋愛樹 庁舎整備局長** もう一度、まず基本方針の中身について確認しておきますけども、この基本方針につきましては、基本的な考え方の域を超えるものは具体的なものとしては示しません。今後、具体的な内容について具体化していく段階では、特別委員会の中に出して行って、いろいろ議論、調整をしていくということに、次のステップでなっていくということですので、この基本方針というのは基本的な考え方の内容を深く掘り下げて示していくというものではございません。市としての姿勢を基本方針という形で説明するという事で打ち立てていくものでございますので、まずそこを確認しておきたいと思えます。

◆**中西照典 委員長** 椋田委員。

◆**椋田昇一 委員** 今、局長が最後にそこを確認しておきたいと思うと言われましたけど、その前に、その確認ということについては私、まだ意見がありますので、また後で発言しますが、先ほど私が申し上げたことについて、あるいは問いかけたことについて教えてください。議会との調整を進めるということ、それから議会の議論を踏まえて取りまとめるということ、議会に報告するという事、いずれもその中身といいますか、概念といいますか、言葉の定義は違うと思いますので、少なくとも市民にそういう誤解を与えないということはちゃんとしてもらう、誤解を与えない説明をしてもらうということとあわせて、今の、私それぞれ違うと思うけど、そのあたりについてはどう考えられるのですかということについてはお答えください。

◆**中西照典 委員長** どうぞ。あれ、市長が言われたことは、今、委員会の、局長、それから次長が言われたことにそれぞれの解釈にずれ、聞くほうの解釈のずれがあるのだということと言われたわけで、その辺をどういうふうに我々は考えればいいのか、あるいは市民の方がどういうふうに考えていけばいいかということですか。意見があればお答えください。じゃあ、いいです。じゃあ、有松委員。

◆**有松数紀 委員** 椋田委員の質問に対しての回答が返っていませんのでね、ちょっとあえて言わせていただきます。

先ほど意見を言わせていただきましたけども、ちょっと議論が少しずつ拡散してきておるのかなという思いがしますけども、橋尾委員が言われた、前回の特別委員会の報告なりを受けた中での総括をしなければ、この提案に関しての議論は進められないという表現がありました。私は私なりにこれまでの専門委員会とかそういった部分のステップを踏まえて、今、執行部は新たな基本的な考え方を示されたというふうで、これはこれでまた我々、特別委員会の中に情報提供をいただいた中で議論を進めていけばいいと私は思っているのです。そこら辺の整理をちょっと委員長のほうでしていただいてから、また椋田委員の意見とかいろいろな部分も出てくるのではないかなと思いますので、よろしくお願ひします。

◆**中西照典 委員長** 私としては、そういう意見があるということと、今まさに言われたように、皆さんに諮ってほしいということだったら諮るんですけども、今意見がありました。これは、諮るということはそれぞれの提案ですね、橋尾委員が言われた、有松委員が、ほかの方の意見をまずちょっと聞きましょう。伊藤委員。

◆**伊藤幾子 委員** 有松委員さんから、前の特別委員会の際の報告は、2号案では実現が可能な

いということが中心というか大きなことで、住民投票がすべてではないってというようなことを先ほど言われたのですが、私は2月の初めに市民説明会で、議会として市民に対して説明をしたわけですよね。それはそれぞれの議員が腹の中でどう思っているかはわからないけれども、だけでも、やっぱり議会として市民に対してちゃんと説明しようってやったわけですよね。あの報告を聞いて、やっぱり大方の市民というのは、まずはいろいろあったけど住民投票の結果を尊重して、議会が議会としてそういうふうに動いてくれるっていうふうには私は思ったと思うのですよ。それを、こういうような解釈を、それは本音でしょう、それを言われた。ほかに、ほかの議員さんがどんなふうに思っているかわからないけれども、そうやっているんな解釈があるのであれば、私は、橋尾さんは市長に対してけじめっていうか、そういうのをつけてほしいっていうふうに言われたけど、私は議会もそれは必要になってくると思いますよ。本当に市民に対して、市長もあかんけど、だけど議会も言うことやること本当にわからないっていうのが本当に市民の中から出てきているし、こんな、何ていうのかな、曖昧にしながらやっぱり事を進めていくっていうのは、やっぱりいけないと思います。やっぱり議会としても何かしらけじめが要るのではないですかね、市長の考えることをこれからいろいろどういう形で、聞いていくのか知りませんが、そういうことをするに当たってもやっぱり議会として考えなくちゃいけないのではないのでしょうか。

◆中西照典 委員長 ちょっと具体的にどういことですか。ちょっとそこを教えてくださいな。

◆伊藤幾子 委員 結局、2月に市民説明会で議会として説明しましたよね。それで、その場で2号案は実現不可能でしたと。住民投票はすべてではないというような説明にはなっていないはずなのです。だって、そこで頭を下げてないですよ、議会として。市民の皆さん、申しわけありませんでしたってことはしてないわけなので、私は有松委員さんが橋尾さんに対して意見を言われた中身を聞かせていただいて、それならばお互いの解釈の違いで済ますのではなくって、やっぱりそこはしっかりと議会で議論しないとイケないんじゃないでしょうかっていうことです。

◆中西照典 委員長 桑田委員。

◆桑田達也 委員 住民説明会のお話にまでさかのぼっているわけですが、今、この特別委員会の委員は、私たちは少なくともこれまでの経過というものを、客観的な認識をきちっと持たないと議論というのは進まないと思うのですよ。なぜ我々というか、庁舎整備の専門家委員会ができたのかと、私たちもこれの設置を認めて専門家委員会は12回までやってきた、このことはなぜなのかということは、まず伊藤委員が一番よく知っていると思うのですよね。前の特別委員会からの経過があり、委員長報告もあり、そして議会としてこの一定の方向性も示すことができなかった。そうした中で、この客観的な特別委員会、前の特別委員会の説明会をし、市民の皆さんにそれを聞いていただき、その上でこの専門家委員会の設置ということに流れてきているわけですよね。12回やって、そうした専門家委員会の報告を私たちは受けて、そして次のステップに今行こうとしているところの議論ですから、そこからスタートしなければ、何かずっと前の話にさかのぼってまた蒸し返すというかね、この議論をそこからスタートしないといけないということのほうが、逆に市民の皆さんにはわかりづらい。そういうふうには私は思いま

すから、この特別委員会のやはり果たす役割というのをまず我々がきちっと認識をして、そこからスタートをしていただきたいなというふうに思いますし、委員長にもそういうこの特別委員会の運営をお願いしたいというふうに、

◆**中西照典 委員長** ちょっと待ってください。私は、この委員会を開くときに、そもそも論ではなく、これはあくまで執行部が出されたものに対して審議して、それを調査して、どうするかという、決める委員会ですから、今報告を受けています。それから、椋田委員が言うように、語尾というか、ニュアンスについての意見は出ましたけども、あくまでも執行部が、きょうは報告会、報告を受け、次に進むのに、私が言っているのは、委員会に報告なしのことを市民に説明してもらっても困ると。まず委員会を尊重していただきたいということを言っただけですね。

◆**桑田達也 委員** ちょっとそのことで。

◆**中西照典 委員長** はい。

◆**桑田達也 委員** 実は、先ほど次長のほうからスケジュールということも御説明があったと思うのですが、それでちょっと私、一つ確認をさせていただきたいのは、この市民説明会、7月の13、14で開かれる市民説明会での資料ですね、基本方針案、これの内容については、この日本海新聞に掲載されているこの3点の域を出ることはないと思うわけですが、どのような資料がまずその説明会で、これから推進本部の中でいろいろ議論をされて、

◆**中西照典 委員長** 桑田委員、ちょっとそれ、そこはちょっと、ちょっと待ってください。それは次に行くからね。

◆**桑田達也 委員** ええ、それで、委員長の先ほどのことにも通じるのですが、改めてこのスケジュールですね、その委員会、この6月の27日に立ち上げて、7月の13日までの約20日間の間にこの特別委員会への説明を何回開こうとされているのか、そういったことも含めて、

◆**中西照典 委員長** だからそれはね、それは、

◆**桑田達也 委員** スケジュールですよ、スケジュール。

◆**中西照典 委員長** スケジュール。だから、さっき向こうが委員長と相談しますということまで来ていて、皆さんにお諮りするところがこうなったので、私はそれをきちっと、今は案がないなら委員長と相談するというので、諮りかけたら、話がこうなっているので、ちょっとそれを、

◆**桑田達也 委員** だから今、そういうふうな理解であれば、あえてその委員会の報告というのを求めなくても、委員長と庁舎整備局のところスケジュール調整していただければいいわけですから、それで我々が納得すればいいのではないのでしょうか。

◆**中西照典 委員長** だから、それを諮りかけたら変わったから、もう一度そこへ返そうとしているわけですが、そしたら**(聞きとり不能)**さんが言ったように、有松委員が橋尾委員の言われたことについて皆さんに諮ってほしいということがありましたからね。

◆**桑田達也 委員** じゃあ、中身に入って、先ほどの報告書のね、

◆**中西照典 委員長** ちょっと待って、待って、待って。それで、

◆**吉田博幸 副委員長** さっきの基本的なことは、次長が**(聞きとり不能)**、それ以上のことはな

い。

◆中西照典 委員長 順番にちょっと進めます。有松委員がさっき言われた諮ってというそれは、みんなに決議してほしいということですか。ちょっとそこを確認。

◆有松数紀 委員 いや、決議してほしいとか、そんな話ではありませんけども、委員の我々がこれから何を議論しなければという目的をはっきりしておかなければ前に進まないじゃないですか。それを委員長が先ほど来言われておることですけども、橋尾委員が言われた部分に関しては、こういう提案というのは今までの議論は何だったのだという根本を言われたから、議論をなかなか前には進めれんと、総括をするべきだということを言われましたのでね、改めてそういう委員会なのかということ委員長として整理をしてくださいと私は言っているのですよ。

◆中西照典 委員長 これは、先ほど、この会が始まった冒頭から私が言っているような委員会です。あくまでも執行部が提案されることに対してこの委員会がそれを審議して、最終的には議決をして、それを結論を出していくという委員会ですから、それは皆さん、確認していただいたところから始まっていると私は思っております。

ですから、きょうは報告を受けて、先ほどから私が言っているように、次の住民説明会までに、きょうここで話される、あるいは議場で話された以上の、以外のことが住民説明会でもしも内容を含んでいるようだったらきちっと委員会に報告をしていただきたい、それについて云々よりもまず報告をしていただくということが大事ですよということですし、それについては、局長は委員長と相談をしますということは今言われた、先ほど言われたから、皆さんにそれでいいですかというのが、私が言いかけていたところです、さきに返れば。

そのことについて、ちょっとあらかじめ、改めて、します。局長と委員長の間で次の意見交換会までに特別委員会を開くべきだという、委員長が判断したら開きたいと思います。それでいいですか。

◆橋尾泰博 委員 具体的なものは出ないって言っとる。

◆中西照典 委員長 はい。

◆椋田昇一 委員 あの、それ、

◆中西照典 委員長 ちょっと、ちょっと待って。

◆椋田昇一 委員 今の点にかかっていますよ、今に。その報告をするということと、議会が了解をした、あるいは表現を変えて議会との調整の上のものだということとは全く別問題だということだけははっきりしといていただかないと。我々議会やあるいは執行部、議員、この市役所の中は議会用語、行政用語があって、そういう誤解も少ないかもしれないけど、やっぱり市民には、調整をしてとなると、それは了解をしてもらってというような理解も生まれてくるから、そこだけはちゃんとしといていただきたい。それを抜きに報告ということになるとまずいなと思いますから。

◆中西照典 委員長 これは今言われるように、当然調整っていうのは議会がうんと言ったものが調整であって、それ以外のことは執行部の提案であり、報告であるということは、これは一般論だと思いますので、その点、言葉の使い方を注意していただきたい。椋田さん、それでいいですね。じゃあ、そうするともう、

◆**棕田昇一 委員** いいですね、そういうことで。執行部、そういうことでいいですね。

◆**中西照典 委員長** 先ほど言いました、これきょうから、少なくとも市民説明会、意見交換会が行われるまでの調整は、今までどおり委員長がさせていただきます。それでいいですね。じゃあ、それでいかせていただきます。

そのほかに、一応報告案件が済んでおります。あと、わかりにくい点、それから執行部に説明を願いたい点があれば。棕田委員。

◆**棕田昇一 委員** 途中でももう1点、後で発言したいというふうに申し上げましたが、私、一番最初に下村委員が言われたこと、私もそう思うのですよ。私は一般質問でも申し上げましたが、私だけが理解不足とか理解がないのであれば私をもっと勉強すればいいのだと思いますけど、やはりメディアの報道を私なりに点検してみると、そのほとんどが、もちろんメディアだけではなくて、少なくとも私の耳に入ってくる市民の声のほとんどが、やっぱりわかりにくい、あるいはわからない、こういうことなのですね。そのまま、きょうも市民説明会は既に発表した基本的な考え方に至った経過を説明したり、あるいは基本的な考え方を踏み出すものではないといえますか、超えるものではないといえますか、言われましたよね。多少、修飾語がつくにしても、わからない、わかりにくいと思いますよ。つまり、このまま市民説明会をしても、やっぱり市民の中の、わからないとか、あるいは市政に対する不信とかいうようなもの、あるいは混乱が余計増幅するのではないかというふうに私も思うものですから、そのあたり執行部はそのようには考えられなくて、この議会での議論、それを、議会と執行部とのやりとりでわからないと言っている、それを報道しておるメディアの多くもわからない、わかりにくいと言っている、市民の多くもわからない、わかりにくいと言っている、だのにこの議会でのものをするのですか、踏み越える、踏み出すものではない考え方で市民説明会を開いて、まさに所期の目的が達成されるというふうに執行部は考えておられるのか、そのあたりについてはいかがお考えでしょうか。

◆**中西照典 委員長** 亀屋局長。

○**亀屋愛樹 庁舎整備局長** 庁舎整備に当たりますは、最終的に全体構想を示す段階においては明確に庁舎の整備に当たってはお示しするということを言っているのですが、いわゆる、ある意味では途中経過でございます、これはね。ですから、本庁舎についての取り扱いをどうするのか、既存庁舎についての取り扱いをどうするかということで今後議論をしていきながら、その活用について検討をしていくということの姿勢を見せているということでございますので、もう全部がある程度固まった段階で皆さんに説明していくということになってくると、決まったものになってから説明していくのかということになります。

そこで、今回は執行部、市長として、市として庁舎整備に当たっての考え方をこういう考え方でやりますということで説明をさせていただくわけですが、ですから、本庁舎についてはどうするのかということ、第2庁舎についてはどうするのか、こういったことを具体的にお示ししてできれば一番いいのですが、それについては今後検討しながら活用については案を示していくということで説明をしていこうと思っております。そこはある程度、具体的に内容が固まったもので説明できるという状況ではございませんので、そのあたりは市民の方には理解が得

られるように説明をしていきたいと思っております。

◆中西照典 委員長 ほかに。じゃあ、下村委員。

◆下村佳弘 委員 やはり全体構想がわからないですよ、まだ。その中で、どう判断するかというのはわからないわけですよ。私たちもどう判断していいか、まだわからないという中で、きょう報告された3点セットの中で、庁舎整備推進本部の設置について、これはどういう形になれば、やっぱり必要だろうというふうに思うわけですよ。市民説明も意見交換会も、これはどういう形になれば必要だと。けど、一番大切なのは、基本方針ですよ、基本方針をどうするか。これを説明するわけですよ、言ってみれば。これを説明するときに、やはり、何ていうかね、前後はいいけど、これがやっぱり大切だと思うのですよ。駅南に拠点を持ってくるかどうかは、それはわかりませんが、この内容についてやっぱりどこまで肉づけができるのか、もう少しやっぱりいろんな方面で、何ていうか、煮詰めなければ、やはり住民説明会としてはちょっと物足りないじゃないかというふうに考えますので、その辺は、今、なら何をということはないのですけども、委員長とよく話し合いをして、特別委員会とも絡めてどういう方向でやるのかというようなことは話し合った上でお聞かせ願いたいというふうに思います。

◆中西照典 委員長 椋田委員も下村委員も言っておられることは、我々議会の中でやはり混乱が起きている、それぞれの思いの中で、今までのことをそのまま市民説明会でされると非常に混乱が起きるので、それを心配というか。ですから、そういうことにならないようにきちっとしてほしいというのが趣旨だろうと思います。そのほかに。どうぞ。

◆伊藤幾子 委員 その市民説明会で基本的な考え方の御説明をされるに当たって、いろんな意見が出てきたりすると思うのですけどもね、この①、②、③、3つありますけれども、どんな意見が出てきてもこれは絶対変わらない柱なのか、それとも5会場でやったり、あとこれまで届いている意見を踏まえて、やはりこの考え方を変更していくっていう姿勢はあるのか、その辺はどうなのですか。

◆中西照典 委員長 どうぞ、亀屋局長。

○亀屋愛樹 庁舎整備局長 はい、この1、2、3に書いてありますとおり、検討を進めますということ確定ではございませんので、ですから皆さんの意見を伺って、整備に向かってどういう最終的な構想として練り上げていくのかということには参考にはさせていただくことはあると思います。

◆中西照典 委員長 いいですか。非常に言いにくいことだと思いますけども。はい、どうぞ。伊藤委員。

◆伊藤幾子 委員 例えば、住民投票であるとかアンケートであるとか、そういうものだったら数としてはわかりやすいですよ、こういう声がどれだけ、これがどれだけってね。でも、説明会となると、いろんな意見、本当に意見のいろんな種類があるということはわかるけれども、じゃあそれのどこの部分をとって反映させていくかっていうのはすごく難しい。本当に個別的なことなら対応しやすいと思うのですけど、この考え方のたたき台というか、基本的な部分ではなかなか難しいのではないかなと私は思っているの、だから確定ではないと、検討を進めるということになっているっていうことなんですけども、私としてはすごく悪くとらえていて、

これが変わることはないのではないかと思っているのですが、でも確定じゃないということなので、やはりしっかりと意見は聞いていただきたいということと、それと、これまでの経過をまた言うと言われるかもしれませんが、やっぱり住民投票が起きたのは勝手に決めるなど、議会と市長と勝手に決めるなっていう思いもやっぱりあったわけですので、そこはしっかりと酌んで踏まえていただきたいということは要望しておきます。

◆中西照典 委員長 じゃあ要望です。そのほかに。

◆橋尾泰博 委員 わしもちょっと一言言っとかないといけない。

◆中西照典 委員長 はい、橋尾委員。

◆橋尾泰博 委員 私、今回の議会の質問でも、市長が何ぼ理屈を言われてもこれは新築移転だということをまず言って質問に入ったのですが、皆さんが今までの過程をクリアしてきとって、その場その場で次のステップとして最良のものを求めていこうということで議論しておった。これはこれでやっぱり尊重せにゃいけん部分がある。けども、やっぱり根底というか、基本の筋だけは曲げちゃいかんという部分もあると思うのですよ。それで、今のきょうの提案を、これから具体的なものが出ないという話の中で市民説明会をするということについては、これ、私は大混乱を起こすというふうにまず思います。これは市民だけでなくして、議会の中でもいろんなまた混乱が出てくるだろうというふうにまず思います。

それで、私が一番最初に言ったのは、例えばきょうの提案というのは、一番最初に新築移転の基本方針を固められた23年前半の部分の時期と同じようなことを言っておられる。けども、市民の皆さんが住民投票を求めたその段階には、新築移転の基本計画をつくっていましたが。あの内容を見られて精査をして、それでやはり耐震改修という案を提案してこられた、それで住民投票で真意を問おうという形でやってこられた。議会も全会一致で決めたという経緯もあります。それから住民投票をお願いしたという経緯もある。市民の皆さんが判断をされたという経過がある。やっぱりその部分を住民投票がすべてでないっていうような言葉で市長は逃げられたけども、やはりその部分はきちっと整理しておかないと、今のこの現状の中でこのような提案をされたら大変な問題がある。だから、やっぱりその部分は、我々特別委員会としてもきちっと整理をした上でないと本当の議論に入れませんよと言ったのはそこでしてね。

だから、もう少し、何ていうのかな、執行部のほうでもう一つ骨組みね、例えば私の質問に対して、市長は市立病院跡地と駅南庁舎に機能を集約するのだと。それで、中枢機能はといたら、市長室と総務、企画、議会、こういうものが考えられるとおっしゃった。それはまだ持っていくか持っていくか決めとらんと、きょうの何か記者の取材ではそういっておっしゃったけども、議場ではそういうことも言っておられるのでね。やっぱりそこら辺をきちっと整理されて、少なくとも我々にそういう話をしてもらわんと議論にならないですよ、もう。個々の問題にしたって、椋田さんが言った質問に対して、土地、建物どっちだって言えばね、建物を利用することを考えるっていうことはない議論もあり得るみたいな。何かね、非常にわかりにくい。それで我々、報告できようは聞かせてもらったけども、やっぱりきょう、皆さんのお話を聞かせてもらっても、水かけ論ですよ、わからないから中身が。やっぱりこういうことでは委員会も、我々にとっても非常にづらいですよ、こういう提案の仕方は。以上です。

◆中西照典 委員長 そのほかに。じゃあ、寺坂委員。

◆寺坂寛夫 委員 住民投票等出ましたけども、当時のことを出したくはないですけど、結果的には建築工事費のが主体になっておりますので、それでは住民投票の結果に特別委員会等でいろいろ審査したわけですけど、そこの中では結果的にやっぱりまちづくりやいろいろな必要なということが出ましたし、それとか住民のことも出ました、そういうことがいろいろあったことがありました、それから駐車場の問題。それで、最終的には皆さんで条例化して、専門家委員会の話し合いを12回持たれたということがあります。それは我々もその委員会、特別委員会でもそれ聞きながら取り組んできとる。その中でも、市民のアンケートもありますし、声もいろいろな声もありますし、委員の方の声もある。非常にいろんな面で防災面、市民サービスとかよく出とると思います、この問題はね。それは新たな事業という、新たな展開で鳥取市の構想でもありますし、まちづくりもあるし、それも出とりますので、市民としてはどう、いろいろアンケートもあるし、結果も。当然説明してほしいというのがあると思います。

ですから、この辺もきっちり今後、推進本部も立ち上げられますし、いろいろその辺で、あらゆる面で防災、まちづくり、市民サービス、それも十分各課が連携して取り組んで、いろいろ説明を十分できるような取り組みをやっていたきたいと思います。以上です。

◆橋尾泰博 委員 ちょっと一言。

◆中西照典 委員長 じゃあ、橋尾委員。

◆橋尾泰博 委員 今、寺坂委員も市長と同じように、費用の抑制ということで問題を矮小化しておられるけども、私がさっき、新築移転の基本計画を市がつくってやったわけですよ。それを市民の皆さんがあの基本計画を読まれて、これで鳥取市のまちづくり、歴史、観光、人口推計、それから財政に及ぼす影響、防災、それからリスク管理、それから、これからの市民サービスのあり方等々、いろんな視点で考えられて2号案というものをつくられているわけですよ。だから、今、寺坂委員は費用ということで矮小化して言われるけども、市民の皆さんは費用だけで判断していませんよ。そこはちゃんと頭に入れてください。これだけは一言申し上げておく。

◆中西照典 委員長 では、そこまで。ちょっと待つて。そちら、だれかあったじゃない。じゃあ、桑田委員。

◆桑田達也 委員 先ほど基本方針、全体像が示されなければ議論できないではないかというような御意見もあったわけですけども、それと非常にわかりづらいということですが、これまでの経過を踏まえた上で、この鳥取市が市民の皆さんに対して基本的な考え方を示すというのは、これは流れからして当然のことであって、私は理解をするものでありますし、それから、示されている1、2、3の内容がわかりづらいというの、少しちょっと理解に苦しむのですが、これまでの、ちょうど椋田委員が一般質問でこの中央大学の報告書をたしか上げられて、違ったかな、木村さんだったかな、どうだったか、非常にこれまでの議会も含めてさまざまな議論が俯瞰的な立場で検証されてきていないというような内容を上げられて市長に質問をしておられた。まさしくそこがほして、これまでの鳥取市役所に関する議論というものが極めて俯瞰的でなく鳥瞰的な議論に終始していたためにわかりづらくなってきている、だからこそ、例えば

先ほど住民投票の話が出ましたけども、

◆中西照典 委員長 桑田委員、ちょっともう少し、

◆桑田達也 委員 わかりました、わかりました。それで、私が言いたいのは、まずこの全体構想をかちっと決めた上で市民説明会をしてしまえば、それこそ右にも左にも行けないわけで、今の基本的な考え方というものを示して市民の意見を聞き、先ほどの議会との調整もしながら、そして全体構想を決めていくというのは私は当然の、これは私は進め方だろうというふうに思いますし、もう1点言っておきたいのは、新築移転、新築移転という言葉が先ほどから出ておりますけども、議会の私たちが新築移転という言葉を使ってしまうと、逆に市民の皆さんに混乱を来す、こういうふうに思いますので、今後、発言の中で新築移転と、少なくとも現在の時点で新築移転というこの言葉の使い方は、私は控えた方がよろしいのではないかと、こういうふうに思います。

◆橋尾泰博 委員 だって、新築移転だかな。

◆中西照典 委員長 ちょっと待って、待って、待って。それは、意見ですから。それを橋尾さんが言われることについては、意見いうことで。(発言する者あり)

待ってください、一応これ、今まで以上にものすごい変わった意見を言われるのだったらあれだけど、大体これは、(発言する者あり) ちょっと変わったってというのは出てない意見ね。変わったって、変な意味、言われるのだったらいいですけど、少なくとも今、どなたから聞いてもわかるのは、市民説明会、それから意見交換会に対して非常にこの委員会では危惧しているのだと。だからどちらもさまざま意見がありましたけども、そのことはよく執行部もとらまえていただいて説明会に臨んでもらいたいというのは、一つの意見として、くくりとして一旦くくりまします。それ以外に。じゃあ、伊藤委員。

◆伊藤幾子 委員 その市民説明会に対する危惧は皆が感じていることだということで、それでいろんな意見や質問が、疑問が出されて、執行部が答えられることはいいのですけれども、これちょっとどうも議会に向けられているような内容だなということが出てきた場合の、今後ですけどね、やっぱり議会としても対応をそれは考えていかないといけないのではないかと、ということだけ言っておきます。

◆中西照典 委員長 はい、意見として。

◆椋田昇一 委員 さっきは答弁いただかないままに、一応委員長がまとめられたので、それよしにしましたが、ちゃんとこれから聞くことを答弁してくださいね。

全体構想ということにかかわるのですが、私、この特別委員会ができましたとき、1月に、庁舎整備の、といいますか、こういう工事をするときの基本的なスケジュールといいますか、進め方っていうのはこういうことで間違いないのですね、私、素人なもんですから確認をということで申し上げたことがありました。

まず、基本方針というものが示されると。それを踏まえて、基本構想というものが示されると。それを踏まえて、基本設計や実施設計というものがなされると。そしていよいよ施工といえますか、建設に入っていくと、こういう理解でいいですかっていうことで、そういう理解でいいですと、こういうふうに御説明いただきました。

ところが、こうやって議論してくると、その4つには聞いたことのないような全体構想という言葉が出てきたり、あるいはこれまでは基本方針を出される前に基本方針案というものがもちろん出てきたけれど、基本的な考え方というような表現でのものが出てきたり、何かもうその都度新しい言葉が使われてわかりにくい。いや、それで、この全体構想というのはどこに、今の4つの基本スケジュールの中のどこに位置するものなのか。少なくとも基本方針の後に出てくるということのようではあります、じゃあその後は何なのかね、ここをちょっと明確に答弁というか、説明いただきたいと思います。

◆中西照典 委員長 じゃあ亀屋局長。

○亀屋愛樹 庁舎整備局長 今回、提案説明の中で基本構想を取りまとめますということですが、これは基本方針、通常でありましたら方針が出まして、基本方針、次は基本計画、基本設計、実施設計という形が来るのですが、ここの構想というのは基本計画に至らないところでございますけども、ある程度、費用面とかこういうものを示していくということで、方針と基本計画の間どころといたしますか、基本計画まではまとめられないけども、全体の中身がわかってくるというような位置づけでございます。

◆中西照典 委員長 どうぞ。椋田委員。

◆椋田昇一 委員 じゃあ、執行部の考え方からすると、全体構想の後にいわゆる基本計画というものを示していくことになる、こういうことだというように理解したらいいわけですね。

○亀屋愛樹 庁舎整備局長 はい、そういうことです。

◆中西照典 委員長 いいですか、はい。

じゃあ、とりあえず、どうです。

◆橋尾泰博 委員 もういいでないか、議論にならん。

◆中西照典 委員長 はい。じゃあ、皆さん、意見が終わりましたようですんで、では、これをもちまして市庁舎整備に関する調査特別委員会、第8回を終わります。

午後3時15分 閉会